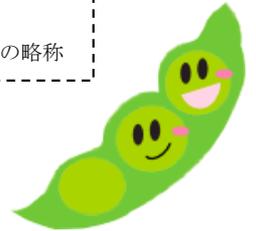


第三弾は学習支援の月テラ・ドテラに参加された

大学生ボランティアさんのお声を紹介させていただきます。

Fさん	学ボラ2年目	今春より小学校教諭
Gさん	学ボラ2年目	今春より大学4年生
Hさん	学ボラ2年目	今春より大学4年生
Iさん	学ボラ2年目	今春より中学校教諭
Jさん	学ボラ4年目	今春より小学校教諭

月テラ・ドテラとは・・・
月曜と土曜に開催される寺子屋
大学生や元教員のボランティアが
学習支援する活動
学ボラとは・・・
学習支援ボランティアの略称



司会 はじめに豆ボラで活動を始めようと思った動機や活動する前のお気持ちを聞かせてもらえますか。

Fさん 私は教員志望の大学の先輩に勉強になると勧められて始めました。

Gさん 私もです。先輩から「中学校でやっていて地域の方や先生もいるから勉強になるよ。みんないい人だから」と紹介されました。ボランティアをやってみたいと思っていたけど、やったことがなかったので。どんな活動をしているのだろう？と不安な面が大きかったです。



Hさん Gさんもですか？私も学生のうちに何かひとつでもいいのでボランティア活動をしたいなと思っている時に、父の紹介で豆ボラを知って、参加することにしました。初めて伺った時に他の大学の人たちしかおらず、知っている人もいないので少し心配でした。

司会 紹介で始めた方が多いんですね。他の方の動機は？

Iさん 私は「教員採用試験の面接で話すため」が率直な動機です。私が豆ボラを始めたのは大学3年生の11月頃で、それまで、一度もボランティアというものをやったことがなくて。「教採でボランティア経験のことは聞かれるよ。」と

大学の教授や先輩から言われていたので「何かやらなきゃ！」という思いで飛びついたので豆ボラだったんです。

Jさん 私は教師を目指す者として、実際に子どもと触れ合う経験をしておきたいという思いがありました。自分の住む地域にはどんな子どもたちがいるのかな…しっかり勉強を教えてあげられるかな…と活動前はワクワクドキドキしてました。

Hさん Jさんも同じ気持ちだったんだ。実は私も中学生への学習支援なので、自分の知識で教えられるのか、どう教えればいいのか不安でした。ボランティア活動も初めてだったので緊張と不安な気持ちでいっぱいでした。

Iさん 私も活動する前は、ボランティア経験がなかったので、どういう雰囲気なのか、どういう生徒たちが集まっているのかが掴めず、正直、不安だらけでした。





司会 皆さん、いろいろな不安を抱きながらはじめてくださっていたんですね。

実際、活動しだした時はどのように感じましたか？

Gさん はじめは緊張しました。でもスタッフ皆さんや先輩方に優しく教えて頂けて良かったです。

Iさん “楽しい”と初めて豆ボラの活動を終えた後に感じました。色々な性格の生徒と触れ合うことができたことが、印象的でした。また豆ボラのコーディネーターさんたちが明るく馴染みや

すかったです。そして、他大学の、教師を目指す学生たちとも話すことができ、たくさんの刺激をもらえたことで充実感を感じたことを覚えています。

Hさん 私は自分と同じ大学の人が一人もいなかったのでも輪に入れるかどうか心配でした。でも皆さんとても親切で色々話しかけてくださり、うちとけることができ良かったです。

Gさん すぐに慣れて毎週ドテラに来るのが楽しみになりました。

司会 中学生に対してはどんな印象でしたか？

Jさん 私は「教えるのって難しい!!」って感じました。内容そのものが難しいこともあります。何より子どもに理解してもらえるように説明することがこんなにも大変なんだと感ずることが度々あって。自分の力不足を実感するとともに、もっと分かりやすくするにはどうしたら良いかを考えるきっかけになりました。

Fさん 活動をはじめてからは勉強だけ一生懸命取り組むだけでなく、休み時間も談笑する場面が見られ、子どものつながりもしっかりある温かい空間で私の不安もすぐなくなりました。



Hさん ドテラでは生徒さんたちととても明るく和気あいあいと学習に取り組む事ができ、自分の見た生徒が分からなかった問題を解けるようになった時に教えることの喜びを知ることができました。

Iさん 活動を重ねる毎に、生徒の性格や学力を掴むことができました。すると生徒への声かけのバリエーションが自然と増えていきました。これは教育実習でも活かすことができ、生徒との関係づくりにおいて、とても助かりました。



司会 先生を志す皆さんが教えることを難しく感じたり、理解してもらった喜びを体感できたりしたのは貴重な経験ですね。活動を始めてから現在までに気持ちの変化はありますか？

Hさん 正直、最初は何でも良いからボランティアをやればいーやと思っている所がありました。しかし他の大学の人たちと話したりすることで色々なことを知り、今の中学生に接し勉強を教えることの難しさや分かった時の嬉しさや達成感を味わうことができました。

Jさん 回を追うごとにボランティアメンバーも増えて、多くの出会いがありました。子どもとの関わりだけでなく、地域のつながりを持つことができるようになったことも豆ボラの魅力だと感じています。

Fさん 子どもとの出会い、同じ学生ボランティアの出会いが私の考え方を豊かにしてくれました。



今とても豆ボラに感謝しています。

Iさん 私は津島市で、豆ボラと、週1回小学校に通う、2つのボランティアを行っていました。半田市に在住なので、朝5時30分に起きてボランティアに行っています。教員採用試験が終わって“教採で話すため”という目的が達成され、自分が何のためにボランティアをやっているかが分からない時期がありました。“早起きマジで辛い”、“早く時間が過ぎないかな”と思いながら、嫌々活動をしていました。そして“こんな自分が教師になっていいのかな”とも悩んだ時もありました。

司会 そんな大変な時期があったとは…大変でしたね。

Iさん しかし、小学校のある学級と、ある生徒に出会ったことで“この学級をどうにかしたい”、“この生徒をどうにかしたい”という思いが芽生えました。そのとき“教師のやりがいてこういうものか”と気付きました。ボランティアも教育実習も、来年からの教員生活も、すべて“生徒のため”に尽くすものだと、初めて心から実感することが出来ました。

司会 それを乗り越えられて今があるんですね。他の学ボラさんはどうですか？

Gさん 私は他大学の学生や先輩、現役の先生や引退された先生方ともお話する機会があって、現場の話や勉強の仕方、保護者の立場の意見など刺激をたくさん受けることができました。他の大学の学生と交流も深まり、人間関係の幅が広がりました。

Hさん わたしも豆ボラに入って良かったなと思っています。自分の大学の人が1人もいないので、先輩にもぜひ勧めておきたいと思いました。

Jさん 私は何ととっても、これから教師として働くようになってもつながり続けたい仲間を持つことができてよかったです!!

Iさん 私は“目の前の生徒を高校に合格させたい”という思いで豆ボラ活動を行っています。教育に関することで、初めて心から“人のために動きたい”と思うことができ、今はとても充実しています。また、豆ボラ本部に対する“恩返し”の気持ちも込めて、今後も生徒のために勤めていきたいと思っています。



お忙しいところ貴重なお話をたくさんありがとうございました。

皆さまのこれからのご活躍を期待しています。

学生の皆さんには今年度も引き続きボランティアをお願いしたいと思います。

また卒業される方はいつでも本部へ遊びに来てください。

そして現場のお話を聞かせてくださいね。楽しみに待っています。

